

## マドリッドの夏

40日間の夏休みが終わりました。みなさんの夏休みはどうでしたか？

私は、夏休みの前半はずっとテレビで東京オリンピックを見ていました。日本は58個のメダルを獲得するなど、素晴らしい活躍ぶりでした。もちろん日本選手だけでなく、各国の選手の活躍にも多くの感動をもらいました。

特に心に残っているのは、やはり男子サッカー準決勝の日本対スペインの試合です。7月8日の交流会のこともあったので、スペインチームに対する思い入れは強く、予選からずっとスペイン(特にアセンシオ、メリノ、ヒルの3選手)を応援してきました。スペインと日本の対戦が決まった時には本当にうれしかったです。試合の結果はご存じのとおり、延長戦の末に1-0でスペインが勝利しました。日本は劣勢ながらよく頑張りましたが、最後に力尽きました。延長戦で決勝点を決めたのは、あのアセンシオ選手でしたね。私にとって忘れられないゴールの一つになりそうです。

さて、話は変わりますが、私はこの8月に「1か月に100km走る」という目標を立ててチャレンジしてきました。今までジョギングすらあまりしたことのない私にとってなかなか困難な目標であり、子供たちを前に宣言したことを後から少し後悔しましたが、日々気持ちを奮い立たせて頑張りました。そのかいあって、なんと8月の1か月間で103.2km走ることができました。目標達成です！マドリッドは午後から夕方にかけて信じられないほど暑かったので、できるだけ涼しい早朝に走ることにしました。おかげで規則的な生活にもつながりました。100kmに到達した日はさすがに興奮し、1992年バルセロナオリンピックの女子マラソンで銀メダルを獲得した有森裕子選手の言葉を借りるなら、この時ばかりは「自分で自分を褒めてあげたい」と思いました。

今振り返ってみると、もしこのチャレンジが失敗に終わっても、おそらく私は自分を褒めていたと思います。大切なのは、何かチャレンジしてみようと思う気持ちと、実際に動き出してみることはないでしょうか。私自身、「〇〇をやってみよう」と目標を立てたけれども長続きしなかったことはたくさんあります。そのたびに頑張り切れない自分がか

かりしたのですが、あの時に途中まででも頑張ろうとした自分を褒めてあげればよかったなとは思っています。

保護者の皆様、お子様が目標を達成できなくても、それをダメだったとは言わず、頑張ったことや頑張ろうとした気持ちをぜひ褒めてあげてください。たとえ三日坊主でも、二日間がんばったことを褒めてあげればいいと思います。そうやって、チャレンジする気持ちを育てていくことが、いつか大きな成功につながるのではないのでしょうか。

## 転出生とのお別れの会

7月22日に、この日でお別れとなる正規生2名、短期生6名とのお別れの会を行いました。まず初めに、お別れとなる8名に対して、代表の児童生徒が別れの言葉と色紙を送りました。その後にお別れとなる一人一人から一言ずつ言葉をもらいました。みんな、マドリッドの生活がとても楽しかったと言ってきて、嬉しかったです。そして、最後にみんなで



「はばたけ未来へ」を歌いました。転出入の多い日本人学校では仕方ないことですが、やはり一緒に生活してきた仲間と分かれるのは寂しいものです。しかし、離れても友達であることに変わりはありません。それぞれの場所でごんばっていきましょう。

また、9月1日から新たに転入する児童生徒もいます。新しい仲間と早く仲良くなれるようにしましょう。



## 派遣職員のつづき

光り輝く舞台の裏で…

八木 啓司

スポーツに湧いた今年の夏。東京オリンピックや高校野球の開催は、スポーツ好きの私にとって大変嬉しいことでした。コロナ禍での開催であったため、選手の活躍に喜ぶ一方、陰で大会を支えている方々の尽力に感謝をしながら、毎日テレビの前で観戦していました。選手ファーストの精神はもちろんですが、選手が気持ちよくプレーできる環境を整えている人達の存在を忘れてはいけません。世界中のオリンピック選手からも、掃除や消毒、競技後の片付けなど、大会を通じて支えてくれたボランティアの方々への感謝のメッセージが多く伝えられています。



私は野球を長く続けてきたので、全国高校野球選手権大会を陰で支える「阪神園芸株式会社」の仕事を紹介します。阪神園芸の仕事の一つは、阪神甲子園球場のグラウンド整備です。甲子園の土はしばしば掘り返され、継ぎ足されながら100年近く使われています。そのグラウンドに対する美しく緻密な仕事ぶりは「神整備」と呼ばれるほど、常に周りから賞賛されます。

今年の大会は、雨天で試合が延びることが多く、天候に左右される過酷な仕事でもあります。私も中学生の大会のために、グラウンド整備をした経験がありますが、開始時間が4・5時間延び、結局中止になることは多々あります。しかし、阪神園芸の手にかかると、無理そうなグラウンド状態でも1時間ほどで試合が再開されます。私も実際に球場で作業を見たことがありますが、その一体感溢れる職員の皆さんの動きに感動すら覚えます。試合再開が決まった時には、阪神園芸の皆さんに対して、割れるような観衆の拍手が送られます。だから、試合後の選手からのインタビューで、家族や仲間に対してだけでなく、最高の環境を作ってくれた方々への感謝の気持ちがよく話されます。テレビではあまり放送

されない所で、自分達のために全力を尽くしてくれている人達の存在を高校球児は知っているのです。



昨年以降、私は、「ありがとう（有り難う）」という言葉の意味の深さを感じています。世界のオリンピック選手もインタビューやSNSで「ARIGATO」と締めくくることが多くありました。このような状況下だからこそ、当たり前のごことに感謝できる人間で有り続けたいと思います。オリンピック選手や高校球児がひたむきに頑張っている姿やそれを全力で支える方々の姿を見て、周りに感謝することの大切さを再確認できた夏となりました。

## 9月の予定

日	曜	行事等
1	水	2学期始業式 12:20 下校(給食なし)
2	木	夏休み作品展(~12日)全校集会 委員会
3	金	
4	土	
5	日	第2回実力テスト
6	月	漢字検定締め切り
7	火	中学部基礎コンテスト(計算)水泳実習①
8	水	給食あり
9	木	水泳実習②
10	金	
11	土	
12	日	家族参観日(12:20 下校)
13	月	振替休業日
14	火	
15	水	給食あり
16	木	
17	金	水泳実習③(予定)
18	土	
19	日	
20	月	
21	火	
22	水	避難訓練(火災) 給食あり
23	木	
24	金	
25	土	
26	日	
27	月	
28	火	
29	水	給食あり
30	木	中学部中間テスト(1日目)